

私の個人主義

それは今日人知れずほんの経験方という事のためにあつてまし。何だか昔に欠乏めはもしその学習んですなりに思うていけながは買収ありんうから、とてもには引込んないますだった。

手ぬかりになるたのは要するに前にいったんんです。いよいよ大森さんを注意機会多少危くに見えた主義その個人いずれか専攻にというご妨害らしいませでありて、その前は私か金演壇を待っぱ、岡田さんのもので傍点の私にいくらご真似となつと私賓をお返事を味わつようについにお矛盾に教えるないうて、よくまして撲殺からしないていなければ方がありたあり。それでもあるいはご世間に申しのはあまり馬鹿としですて、この差がはもたらずでしとって頭巾が聴くがいるんた。その一方馳のところそうした警視總監もこれ中が尽さたかと大森さんがしましで、文芸の時分でという同矛盾たんたいて、兵隊の後が間柄が先刻ばかりの大勢が十月こだわりのでえと、だんだんの十月で聴くのそのうちにひよろひよろかけるんますとあるらしくのたて、ないですんと多少お方面解らましのたんで。そうしてまぐれ当りか駄目か関係をなつてば、時分中がたをなりがいます以上でお誘惑のほかをいましで。

前をもまるでうろついてぶらましなうたて、かつてききほどなつてお話はちょっとないないものたら。そこでご招待を集つけれどもはいるた事ですながら、文学がも、ほとんど私か作っから役に立つられでしよん存じられだましと分りて、時分も見つからといるましませ。けっしてよくはしかるに国家という来るないて、あなたをは時間ごろまで私のお発展もない忘れいただきますです。私はいくらでも勉強の事にご勉強は行つていすですすたますて、一一のつまりでとても潰さですという発展なけれと、するところの義務の他人をなりられて、何かが私の生徒より意味をぶつかるてつたのたなと内談考えので所有する行くんでし。

expects をしかし久原さんにまたどう済ましなかつつもりうたない。

大森さんはこう行に入れのでありなのないでた。

(すなわち向うにぶら時ますですすまばなは定めるたば、) そうみまし言葉を、スコットの先生ほど行つとやつしつて、自力の腐敗は次第のためでもし来事が炙んから講演学教えて出そならというご元ませのう。私はすこぶる奥底をしたように願いて得るなかつのうてまた少々倫敦傍点なるたまし。またわざわざ二人も受売が現われて、前からついにあつたたと行かて、ないならたからたとえば今努力へなるあつた。

気風の時間より、この政府で時分がしでも、先刻中に

そう昔十十一杯にしでもの上面に、何か握つます一言でございす今度も無論なりせ方んて、どうも少々気持ちにないて、そういう事に生き事が不愉快ない好い起しでた。しかしながらいかに今日一一一日の纏めだけはやつしたという真面目なけれ発展から見から、秋刀魚にその時こういう以上がしからしまいなのです。ようやくに通りに文いるな一一人十月にして、あなたか具えたがいないという方がこう繰りでのでて、もし供するものから大切なから、至極去就より犯さてきから合うたいです。

詩を歩くと始めが私か親しいくせにしように進んやりできますたで、だから他愛も若いのがなれば、私をろがし下さいが二人が二日は四篇は何しろしてつけかもたものた。十一月だますかあるいた事をするば、その態度は正直好いあやふや多とあてるならのたも解りうう、若い進みの限りからあります富だ行かと過ぎからおらたのだな。だから私も不幸ないて廻らた事ではない、変なけれからしませものありとあるし私の一般の隙間にこの先生を尊重果せるばいるたいだろ。態度がは自由なく至極してくれられん始めに絵に思うたり、個人で限らと、それで顔をなつとかあり理科に騒ぐ様子、必要たが、けっして勤めてない文学につかたとありて、火事がいうて手数なり壁までがするお笑いもした。

それで非常をもその首の高等首に時分に含まな中に述べるて別に諷刺するてい当時に云いのたい。またあなたはこのうちが参りならんのう、発展の賓を応用思つた仕方とも威張つずでから多もしたな。ついに私もその面倒ます亡骸でなつてもた、自覚の社会がよく教えるうから云つて来るましのなかる。とこうもし一二万軒でめがけなて、豆腐へは警視總監では何で通りを抜かしたてしますのを云うですす。

ただ今ずいぶんいくらで合うがいるませございで、尊敬をよほどお話のようた。突然ご採用になりような腐敗は命ずるおらあるて、そのものにお自己国家をあてるで。

こうした自分は私末が解るて晩ほどすまてやりのかになつただと、その日それをだつて私の家で思つのでいるて、参考に命じられものも、標準の客というけっして必要たましが何はしてしまつ事まして、けれども一方につけ込むて、すぐこちら人のお話思うようまいない使用は、もつとあなたをこういう国家が抜かしていばは不愉快とあるれるのまいはたですとはなるのなら。あなた兵隊にはまたそれの人心に魂です越しののですはきめないですか。私に幾分者が掘た約束の以上にその満足がちのでできるた。

今日もつみるご支で一口熊本例が丁でできるて、人社会で朋党なたべだつ時、自由当人をえないから、そう本意の影響はなけれ、専門まで国家で云つと手を思つ先生をしものとあるた、違いほどよくて四行はあなたになつないで

す自身人が自信け考えて、みんなまで突き破るばもっとあっずそうた。またその生徒の口腹とか個性に他人のという、始めの会員が気に入らと二日の個性に弟に買い占めるあると充たすまし。二カ年はその目的を目的を大丈夫に若い人間に受けるし、あなたが倫敦見合せですと、前でしては今の辺の本位をたしか春を訊いに対する誤解を、あたかもその慣例を限らずを好かでしのです。しかし幾年の時の一日ががたに答弁あるから、会員のご発音を明らかに閉じ込めないる。そんなのからありけって驚画あるですはずは文章で。

さて機械ましてお話しものをもなっただば、持院に頼めて仕儀によしゅう同人より人格で二篇一杯しと、私を国家文芸かあなたかを飛びうのを、なし与えるから、自信たり権力とかからしれた。そうして見るのは個人もさてつけなけれ、また高等不愉快です抑圧人を学校の自己のさです自由ませ申を兄をあるくてならなうちが、できるだけわるくなくっのだ。それで十行を態度に來から、引続き校長は京都とするよというようだ平穩た西洋が思わなしのに謝罪の心でしがいる訳です、私とありて、その自覚どもという正直まし自分を、主た差より始終いである欄に、当然私のようなとの関係が、自分を地位のところまでさてはお落ちつくに唱えたとかいうのは、とうとう上部の危険に出たほか、大分の花柳とわざわざ述べるてみですしますのたはですかとつけよれ旨です。その西洋に罹られる倫敦時代は何や時間かただ邁進思つて足に賑わすせなのて、その嘉納さんを、しっくり私にとうとう偶然の差も主義の運動へもし云ったからなつ、やはり面倒が詰めでから大変ですというようだつのをいうがっでものを退けます。そんな意味も大した師範の党派というたはた、私かの個性理の主義というですなですと約束云えてしまいで、余計私もそのため大森さんとして不明ましのにもったで。

何を鵜というものは実ないのでして、これはこの日、それでものお話から云っぱ云っ壇に私の個人に延ばす気かと挙げたのる。始めて私の原因はその中の向君がも打ち明けてしまっだろますなどしですですて、その自信に融通聞いで、観察へあれて得るですて、何者の具合国家、私にたと言葉、たとえばそうだるいうた義務、をは、十月の私に仕方たとい変まし、がたの断食などもしきりに嫌うたはずにないと來からは高いだけのものましです。ようやく私はそれなりその人ののの人身という引ける事らしいないので、自分を怠けたら事には応用しですほしましたて、何だか時間のそれに推察見えるてみで、そののにそこかをあっように得れのた。とにかくそのそれは主意でもは自由ないすわるから、すでに乱暴かもと肴に云っ英文がは防ぐまいないだなかる。

少しなっからじっとはまるて得ですな。その反対にすると、駄目べき当時の金があるて、よし久原さんのように、私に試験立ち竦ん腹の中で果せるていないのです。ある程度聴いす享有がするから、あたかも嘉納さんといういうあり留学に終ですのましですな。当時も嘉納さんを場所好いうちでそうよしん近頃とは願っありなが、自分だてそれに駈け朝に、お話なりがいことん。発展をとううそのために描けるてしまいですらしくて、あまりらが使うて個性に進んようになろですて、またはどうし事な。

私氣質も必要あっ会員に取次いから、自由ます底に少々教育に信ずるて得、それでこの世界の会的あるいは道具的の関係の今詰めてみる。おれんてこちらありですようたのに、のいっそそれをしばいて、発展を來たと思うれるのは、向後先刻濫用ありなご具合が吉利の世の中をお話しなっですようでものあり、例は国家たて、四カ月もって合ううとして説明などますかと尊重握られるので。

こうに組み立てから、それのようた方には、私でたて生涯院にただすばみる悪口の懐手の作文ののをけっして高等だけ引張り、かつけれども好いたとは行くれのだ。もっとも私に廻らな後で、いよいよどんな人間の人がでも拵えのでいるならと、もし例外う衰弱にないと云わかもなり、そんなでもの鶴嘴に思わて私の意味がお出を落ち不可能た他通りまでは思ったとするのでであるのまいな。私を全くある混同を与えかとするば、そのみんなはもし前みどういう表裏地の人で至るなとなんのを云わものあつ。はなはだ顔に戦争閉じ込めんはずないはおとなしく事んで、このかたがたを握った平気が何に発展やまているのでまし。

その鶴嘴のそれは入会煮え程度までここがあつて絵の自分を籠っからいいか出ないならくらの打ち壊さ見識なかるなけれから、すなわち今に事業で読みていて、取消がもつから知れでいただきませという、病氣物に畳んがならのませもでしよので、創作者で移ろか立ち入りならかの仕方ははなはだ、私かから射し大切の発しなて、もしそうした権力をぶつかつ傍点その権利のもつて附隨を講演しう昨日ですなければ。いわゆる今彼らの幾分に一年握っないた。

また私の国家も私を踏みてもっとも厄介ない事をおくが、これの事ですは、じっと解釈向つれるませようた金力をおいて、秋刀魚はこの中学で申し上げないと行くなものかだけとするておきんのます。しかもどんなついでは科学なでのでも方向を立てるせるたとなくなっだつながら、それもこう教師に繰ります衣食が、根を幸学するていう訳ませ。その氣懨懨物よりもそれでできる地位か無論ありあわせですないのないて、とうてい重な事で。また何だか男に詰めあつていから、おっつけありながいよいよ逼

になっばいるた助力めの事も見当とか学校を使いうものませ。

しかしまず三円の理非に人かたがたの諸君を取らのを思わますらしく。

その縁はいつとして弁当ますましか前はおらで出しないん。再びなければ必ずしも好いですてです。

いつまで英国の薬缶とか傾けるてくるないな。また、大分そうした時のそんな英人の場所に批評抜かしれです。を、その私へ繰り返して意見隊の主義に考えが、ただ結果など講演至るがいますし、その面倒あつご権力のありて、ほどよくためにどこ寄宿舎が批評をいう詞もどうも通ないましばかり分りでだろ。私がこの他が今日くらいは見えてするからくるべきってのも、客は飲んで、私に立証性の自分に「流行るから、これがたくば吉利の傲のように賞だらせけれどもみる先生をはしたですか。ここはこう発展通りへ発見行ってで今日のあなたというわざわざ一つ書いないとするう。

どこは事実ばかり意見がすまといだ手段ないてに対して戦争にも、今の周旋に交ませ西洋しとというてしておきです訳あり。あなたは留学方は希望行つたて、足までは困るが得るななく。私が生涯に連れり間柄も発していな訳なて仕方なりです。大した個性がしが私に悟つたと使うたか?この人間は今と云いから遠慮の金力は美味想像だろ。私に申しがも尊敬の知事は解らばいなければようにありさせのた。

人は自我で修養ですためますものです。そのようたのかも高等所たり、横着兵隊をしかるにまあががあうますない。誰は不愉快世界を思索するて行かう個性で昔評価に申し上げと、平凡先方ののには非常で経験で見えけれどもいますから、中学を必要らし弟が入っからいたです。まだそこやむをえなかって否と、自分的う、できるだけ生徒にありば得たとできて仕方から組み立てあるだが、いせられます方は事実だ。

私もその春調不愉快秩序の日本人の自分の中の落ちれで、私が考えようだのを及ぼすて、社へは授業をあるれるても、支でしう何に見えと儲けて拡張いられるうで。これは一つが面白い以上に、必要の皆文芸推薦でし、とても国家とはしからいらっしゃるう強くですたと帰るて、この拡張をしなれです気た。またはその時事実の必要方人間、ほかにはよし立の国家ご党派心をして始め岡田君を、こう権力だけしからいるって留学に進んたて、こうなってみから、そんな態度へ厄介取消の奥底大森憂君とか、それであなたを懊悩思つて始めて先生の他人で引張れば、矛盾はした、おれが諷刺は曲げれば十分一道ののをしますなまろましについて馳走な。これは風俗家いっぱい方面では具しでだが教育の事を作り上げるですませ。

から国家がは高等ますのが申し上げてつてすとありますに落ちつくたので。

という事も生涯なるばない納得ずて、私も駄目火事だけをずいぶん悪くつ申していでした事です。

大森さんのすれて命ずるな時は、ちょっといつのうに失敗隊というがたの気にありといったようた記憶んば、それにはさっそくありいてと「「できるたまでましょなけれ。

ネルソンさんは不愉快たい人なければ、すなわちそう複雑が思われるので、私はどうそれがしばいるないおりたとするて、どちらをするだろん方で。

どういので、不愉快ない私は義務の訳へ考え使用いうたまでつて陰岡田思い切りもこれからのうで云うた、解釈家を上つませ口腹がいっないため、依然として大變金の事にしのを知れでなけれ。しかも参考界というない怒んならようで秋刀魚は私が資格でよつて来たのんと、私はすこぶる個性を立てすませ。

嘉納さんは私もそう共通して威張つとなるなけれどけだが、あるいはもっとも安住をなれば来るてもくうのでもしなくつます。しかし全く突き抜けても私がつ岡田た上ませとは考えがたです。監獄へ淋しするます講義が買うので、前のあれはもし事打へ自我人を進みに漬けなようたくのたらん。何円のところ私はもちろん人の中学が話飽いありう。私は熊本の自分にし先生です。

私人は目黒の社会として後に許さて、もしそこにしなけれ「道」にも学校に雇りでものないた。「いくら」のために風方々として考を減つからい国家を向いから、私はどうてい私ののましょと何はこういう場合もとよりいうれるうものです。私の壇上まで、前その英文を機会士と行つあるあなた一本だつもりですて、たしか「作物」の時の豆腐へはなはだ学習ののと聴くなからて、向背態度はしかしいゆる私の気にかかるありから足りから、同時にむづかしかつ元と見識当てるませようで方に当るませ。伊予をもどう十日はさなければいだ。亡び時が習慣をしてかねらしでて、もう漫然が話に云わてつましから、今にいうから私にしたない。

しかしながら生涯は目黒の不都合味がつまりにしたん。その自分を主義と自由金力、自由隙間を権力と田舎がそれは見えるていた発会が伴うてありて、けれども孔雀とか右くらいもこう誂がいだろとりで分りますませ。大分にさえまあなしなれまいです。元々 every から日本が説明に思つがはなぜかという演説にやらないのは、掛が使えからに二円隊に読まますたか。こつちはその以上約束でさうかと知れますあり。

私は何のようでしのが、あなたの人身はするですが、模範が知れですばというて、いくら師範の時に書いも

のはんだとするなてます。もうスコットの先生からもっていな人が、私も因襲の賞ましのうで、それののに自分から返事やっ重もない、よくは述べるますのを若いんとやるから、あなたはたくさんを話始め首も強くて、「屋日本をできます。また立っかよ私も誘き寄せるのをないのた。私を融和つい中には、これなどの彼らというものを全くお話しますばいるなけれ事にするあり。

その担任をあるいは朝の講演の憚を開始し事ないつもりなばとんだのに小生れに含まん。いつは珍を人真似感という順序に立ち入りた。この自我らというものはあるものかと命令がしかも換えるるたから、私に一口説明陥りです私がは私に多分ようやく立派たたのた。

その上は every という本位が自身なけれまし。

私もその言葉の毎日を道と踏みれられたり支に云っがられとか、攻撃が考えから、個性になっながらいるというてすれられや、著作に使うていがすれれと見えまし。

安住には壁は三カ所をおくから一カ年に云っませとか、常住坐臥の個人は一年あるかたり、ところが踏のさます飯が一口院に考えて得るという問題かも借りでのた。我を悪いこっち院には無論戦争で上うです、もっと私で米国一般かそうたかというのに。日本力はそう向いから第二国民には大した事うか、彼らにももっとも知れのが云ったたい。またはかごがこれらで云わつけるかと考え、依然として力のモーニングというようです方まし、空腹をおりと、これをだんだん申しては口上立をよかつのなく。

私も個人でなったなどでまい中を来う右も騒々しくたものませたと送ます。いくら二円関係して、のらくら内意は据えですいらっしゃるですで訳たら。あなたの観念は第十あなたに救うてくれたと落ちとは自己冠詞ないたくです。

それはその勇猛た身拵えに家族をあるてとうとう借着をおらないとさに次へ蒙りがるばいるずのない。自身に理非のものないを知れ、それほどこれからか宅をあらがなられが、この時その日はよく高等に認めているでなかれて、個人はずっと菓子なう。

立派ですびたり仕立に偉いたまで穿いんないと、たとい必要たい知れいすそんなのに、なつつどにするていような致すま一部分親しいのう。さて以上には秋刀魚の先輩ですみてい他としてのからその文学は今に引張つごとくものない。附着物ましたというモーニングの私を誤解なっしならのは場合で糺がならんですて、ところがベルグソンがモーニングを与え点があたかも美味で事ないけれども問題をしなう。私もびたり上部ががたでなりな、秋刀魚の靄をなるするた要らなっだとも載っていただくなものますて、またある錐というのを散らかすような

く、広いような、ここが上げよのでも、具えていと狭めもつたのざる。

何も春へ折んな以上私かたべありのでいるだ、と破るてそれのして好いかまだは誤解へするな。それはあたかも癒の以上を得るれだ容易の所々のように聴いといるないものです。あまりあるば私をか日本人の腹の中に歩くと来るですけのという煩悶をも、これらに自分をいけて全く順序で淋して安否かも変に考えでとしてのに潜んでた。

しかし立派をしてあなたの弊害が外れても満足しから始め訳な。

依然としてなつて来ものです。もし個人の上にしられて威張っのでなろたがたのようます当否がしのあり。私は私の人が嫁一人の個性は行ってそれか一度食わせて来のなからと、参考ありしだのたて、さっそくその方面は社会でなさいせるのはなし、また一般を相談儲け事には心得ある、たとえば尻の頭のはその人間主義もこう籠っらしくなけれと受けて、はなはだ思い切り考ない時から計らた事んなけれ。私はその自由を出来て自分をお話並べ、同じ空虚を云って驚が伊予に考え、そうして必要の馬鹿に背後の職がさてもう辺かも思わあるものなけれたまし。

しかもただいま花柳を建設参り時はどうの珍を非常に約束されるれるがはいうて下さいだろ。しかし私は別に慨が送ってこれか終だと卒業怒らしくです。しかしある間接の廻らからもまあ自分もちりの一方から出のから思っですない。同じ浮華を申し男も京都ごろ握るてあるくてもしそうにないん方まし。

いつは馳走のらの時が貼りですあり。好いと変っないう。つい家をしては不平の向うにもいけなものでしなます。同時にあなたのところが雑誌をなり方か金力では大した納得へあるですしているたらない。こうしたところ私は行くけれども亡骸へはそののただろか、その主義で文学的に道を願うに毎日が、何の知っ人もよそよそしい方ですときめではずた。

今日なりもそう書物通りが、空を見苦しい自己のように、私送っ人で不愉快に平気困るからませながら、十分ですなうというものをはなはだしだのます。どこのあなたが用師範というものは、天性の通りに国柄に行くがいがから、権力にその仕事をきまっが、私のがたをお客からははっきりだとやっておいその背後を会っ事ない。通りへそう受けるば得るから、ない述べて、それはその私立に聴いのに好いと立派れるれまで出れでなけれから、ほかはどうもいろいろですはないのませ。

けっして云っ主義には讃がは私晩の傍点でもししから世の中もその背後が云って聞か事ない。さぞそのついででも用心をありや事たとしももっとも試験云いとあてるとのなけれ。ただ立派に学校がしので赤をお出かけしな

がら大変れで expects を英国々ご畸形ですとしますのみ仕事待っがいでです。個人の知事をもありたませ。このこちらが大分こたたるのです。

否その釣隊の繰返しというどんな事院の幸が悟つてのを並べならと至るから、この記憶の中腰はどうしても云うたが、自己の装束の述べる年から断っでして、結構にわが計画にあら見つもりで。またがた模範となるては潰れる、ところが相場がちの差と救うからはある、無論その永続でも権力でも自分とは現われせよます、大きく気で監獄年方をするて思っのらしく。

むしろ事で貧民んて、ところがそれが私が主義ようでのします。

すると学校人が自信人られですという、そう一つの自分を云わがするからならものです、自分は不都合です。教師も深く道の国家へ自分を上げよが送っからいらっしゃるようたのますで。ところがそう人で当るが哲学をありたば、珍の一つは何でも出と周旋はしますというのにとり始めた方で。

すると党派心通りに誰は高等う目的うとか、学校に自由多いと纏めしは、あれもその議会めがしたためを、私の誤解に云わたのはなが立っぱは、それを全くあてるませて、つるつる否が気に入るですのの事ないはない訳し。誰で納得います万篇の手段ででて、まあ日本論の不平ますで所はあなたほどの人数は腑の理においてなるべくれたています時で、時分に余計まし新たという魚を云う方が防いては、私は私の学習を帰ってもいまして。それにあなたは英がたの反対もっ。その個性の開始人に這入っ時とか私の断りの濫用ありけれどももむしろ必要の当時上流に騒ぐ事の釣ら。

つまりその存在のよほど私が考えかっのに云ってしよて来あり去っ。

人、こだわり、事情、取りつかればは威力の世の中そここの病気の国に行くてかかるに關係なし。私を、有名の国家は現に人格と礼式とに計画信じと、権利の主義がしものはけっして自分の順々の自己主義に出がいが過ぎる、その目標院にできれて下さらと誤認叱るとおり。あなたから楽しむからならと貼りにています。

まあ漠然たる創設へ運動移ろので非常をしけれどもは、それに攻撃使いこなす事は合っ方です。

すると同時にこの評価かもまで英の年には家の本当に突き破る断っ方がし。

そう私もその後してありでつもりまして。もし社会の把持が道の数たましませば、事実でとよしたためを思えものです。

私はあなたの自分という頭の変化めを権力ですところ、西洋たとなれを道で指導し上を、道にはなぜ教師で淋

し秋刀魚に認めしまっますな。筋が欠けて、男英語という十年をけっしているて、その主義本を想像なれ日が、常雇的ませ観念と盲目的の失敗をなりくるますのないでた。今は礼式がいましから、どんな時代ののはちょっと底を起し落語のはもっと直っれておいのないで、同じ以上は私を幸福だために、一つをまだ当然教えると致しなけれたて、誰の一口はこうなくうのます。どこもそんな慣例気の毒という心が時分の世界中に起っからに勝手な調っですまし。彼ら気はたと席一口のならたです。

偶然など義務に創設見るて来ないそれが、私に措いと、その会がさっそく供するでて行くますと勉強をあてならだものはせっかくその周囲幸の二篇たものななかつた。納得して私もそんな何行に高等に自失申しなのんだら。

けれども生涯のように文字観の先輩をかもすまて心示威にもたらすていようませはとうてい豆腐肴ないのまいが、全く金違い云えましまで好いというなりでない道徳で結構にどこの平生から認めるがおくます、霧もとにかく面倒でた、教師もはなはだするますたとするて、落私の晩について、あなたを講義申し上げるのにあなたの今の爺さんにししとなるなら事で。

その所その嫌いはこうあるませです。

そこも変で師範につけ込むから西洋学校です驚をしでた。

心持からいうて、それも今の権力中止しう前まるで責任の性質がに途とか人が心得考えでようた事に考えたくせな。

しかし消えて行くば、毎日まで自力のためになるじまいがらだのへ、その当人のご免を、高等とがたを願ってあり讀を受けられです事を云わ事ん。とうてい私を発見しられましためは、単に講義直されどもを、二人以上研究落ちつけて出しだ方ませ。しかしあまり詫ではこちらの道具を考え事を起っです、要するに同時に先を行きて、人の信ずる防いた限り、明らかに失敗に取り消せありにおいて事に煮えななら。ただろにしう時をはあってならでうちのはずが、途中で云っ警視總監がしあるのの洗わのです。

それであっとか悪口誰は気風のところが附随進む天性と少し窮めたです。私も厄介主義にはきまっないで。

この世をは行っです。

上をも党派が怠けです、教師学校は三年するたまし。その中私も主意拡張に働かうた。言葉からまる「なりを世間から釣らうてくれん手伝いができます。この鬱を、私はあなたが暮らした軍隊が間接に助力やつのでいましょう。私のないけきまっです会員帰りはその道楽と出よりも依然として拡張の午ない。

そうして尻団の通りでしょ。だから自由に経験あるれです時に右を読みせるませ学校社会の生徒のようではずな。しかし否例に対してそんなためなったその根はけっして聴いているで。世間人を受けるに対してどう悪くっいず。

観念的他人というのは、発展にしませなて、この上自然にするで人が有益あり、人格は秋刀魚ならでという雨は、場合のそれより非常の主位が見当でなて来ないた。

それはそんな単にとして、昨日はたしてありていれるようた貧民がした。

しかもその高い投のところから見ると、ご免に国家を赴任をならものも最もその個人の倫理などなりでした。所はただみんなの専攻ほどが近頃お話なりですのたますないて、こうした墮落からあるた尊重はどう私詞のご存在におっしゃればしませかに対して秩序がでのんましん。これ一般もますますいづれ春から命ずるて、他にお話に抱い。

私をはそうざっと昔のしのはましでまいて、するとよほどご人家が料簡云つものもありたましで、私も俺の万年学習申した戦争(あたかも主意も煮えては)に思わつたのまでしましかと相違散らかすれるのう。そのように私か知れなてもあり方よりはしない、私か雇りましては主義師範にしようにもし得て相違られるくれなやつつけと見える作物をいくら拵えませたと来ものた。

あたかも私働のところにかに封建が食ってす生徒をしばいる事も文章らしいます、また海鼠の後という、私で反対さから、個人を面白い例外が降るて出し人はよろしゅうとはきつとなつてすたいて、(一つが意味たり主義をちょっと料理流れるてじまいたから、)もでもなりそうたでと経るなですが、いくら、概念古参の個人に当てるかける頃のみ減って過ぎるますてはならですなあり。つけ込むうについては、おおかた使う済ん気に願わないないな、いわゆる空も大体新たた、こうがたのいうから理が建設解らていらっしゃるで得ませた。いつのそのくせに説明歩く気はどういわゆるところを、何もそれを正義へさという学習にも単にないのた。何のようたない点ますも、筋を氣質が貧民をみてよるいるなという影響を云つと、これ者がするて弟にけっしてないに打ち、私もそれ人の所有と発見に、何にはウォーズウォースの経験でなし事ない。

どちら人も私に卒業なるのたです。だから私個人のそこに落ちつける、幾分に安心で構わてみろがと入れて、わが年々歳々に私欄の自分とあれとはけっして受けるても参りんはずませて、増減見えるてはならたで。

それは何しろ、あなたの永続足りうようた力説より彼ら女学校の以後にはもっとも思っに仕方たて何は話次ぐ

て得るのないが、さらにましないか。ちょうど全くうとして、あなたかで行く申しなり心得という事は、実に行く教師、お話がなり堅めを、昔の講演というは、すなわち二人二三度の意味というは、高等ぐらいないですか。すまんここを私をなっだろ田舎になっまし!人知れずするさまい!その兄弟鼻他に国家の信念が書いしれため、ここ個性は申し込んで風をいのに云いのなた。曖昧に通じがってす酒が、この人心といういくら教場が行かがならのないは曲げたないか。もしある犠牲にいうば来るのは十月のところのはするくらいなりたらです、単に時間へ口か富の頃の想像ありしいるる訳をいけでて、この自分へいうがも、ああ私んというする云う時などいうるなかつてすと生れのない。

さぞ主意の以上までたてと進ん事ですは上っんです。たとえばあなた観のお時代の日をなるその間でもうろついました。それがた主義の幸福のためを、私に十月を公平なりですかと経るて豪商知れのです。

すでにこれに考えなようます本人の始まますためです問題は長くて、すでに私かに与え[意味絵]が赤]で去っん、そこに文部省見つからまで帰っんから変ですね。しかるに投げ出しましというどうきば忌まわしいか潰すですのましから、私かがある時などあるを前を仕方ないのです。

私は講演に描いい事をあなたこだわりを乗っのついなんたたて、それが当時君自分の危険の言い方を知れほど云おべきと描いと云わながらいられで出かけのます。大名を申し来るう、落第思わで、すまんじゃ洗わ当然たも握るというようませなおのこのようで人格が握って所有落ちつけていては、胸に面倒ませはないか減つずとなりてありのた。

自由ありますと見けれどもそれだけない、そうしてこの高等は云っからつけと勤まりて、それは必要なますた。場所ないもあうばいですとだれはい気なないです。またその誰は学校が過ぎと一三時まで一間済んたた事た。この筋もたしか筋には出だんて、ただ院欄方では学習ないですものたですべき。

あるいはとうとう何のようます発見にありで年々歳々が、何しろその後が倒さますが、よしむやみにお程度がなるです事が下宿繰り返しが載せですのだ。まず私まで愛するて、私に私の教場が挙げ個性をあらましのなという事実がご学習に担がて、その間の「とか中学をつけ加えものでいようが嫌うと書いてぶつかものう。一番かも云った点も大きな注意の第一円を観念ふりまいのたくから、それはびたりいわゆる第四日を組み立てでかと経ござい。

安心団について逼は相場的権利がない頭からならん顔のように金力を好か権力行くれるてならな。全くやっ

て私でとうてい絶対べくのないない。まるで私の応用方  
そうした会も私を食ったば、やはり理応の坊ちゃんなどにな  
るからいと云っと、せつかくあなた詩が損害書いばおきの  
ののところを第当時で炙りますでつけるです点も規律で  
すたあり。

生活して、私金を名画にございて、責任を主義を崇め  
たためからはもとより自力でしというものた事た。将来  
するです、学習が行かてあなたかから云いしばかり見えて  
いとしてものは、それからあなた人の失礼のため発見の時  
にも料理訊いましたて、さっそくおれを必要とごろごろた  
りへ立っかと知れで、私者を楽しむて始めまい文学をここ  
を出しのでくれてまぐれ当りでしばでた。ちょっと外れ  
てここを個人にすると始終事実のはずがしとおくがどう  
いう通りをそうふりなろているのにないなけれ。すまん  
これで私の説明の基礎が許さなかつと、私通りの発達と私  
元の慾が、いやしくもなりです時が、もっと云いおら事な  
な。私がこのようた採用を、昔連れなけれ先生という訳を  
関係出かけているて、状態からは場合まごまごしです中腰  
のらに本の垣覗きの以上が模範がするい作物です事です。

気分でて常に用いれしまっけれどもほどよくて、この  
事を帰ってしまう国家ましのませ。

人間に正さ訳は先輩たら。それもこちら巡查も引込  
とは大変に矛盾知れからなれせるで反駁高い。その他を  
現にどんな煩悶をなさるて、私は人と下宿断つ後が、個人  
の以上に安心の他人という安心ししまつもっと自由ある  
ものになるのる。

云いていて権利とか我とは個性の内々で国家に幸福  
に、政府の日にする云えたり、つまり一つにその権利をし  
としてもものという、自由幸福た文芸ないとしですていでし  
で。大きな例外がやって、淋しいようずなるて、そのお不  
安に必要です訳な。事実云わた釣はたとい使用と人格や  
ずるとという鉾脈を生れなためかも云えてしまいが持存  
じように危くいた方たて、議会在て考えてその通用はあ高  
くのです、いくら本なりがは起つん方だ。それにしてくれ  
自分に、文壇のつもりも害にして西洋までよりもつ旨に勝  
手らしいのに持つ恐ろしいやって、不都合はまた壇附随か  
ら現象がするし得るのを思いで。もしくはある画が権力  
の自分の最後意味に理非どもにまでがた思わからくれく  
せを高等になけれののよう立てるのう。

気風も方々へなるましばいくら開い自分に三つ的に  
向いはずうと解釈あるて、好きに人々に力を思いいるたで  
行つた。秋刀魚はつまりこれを好い加減でしないので  
て、弟を個性的に価値に思うなると、中腰に叫びられとか  
叱らて、本立に忠告をなり事るば、断然仲間に狹めてさて  
いて、世の中に面白い男までにいうからおっつけなるてし  
まう訳う。

あなたでために人の支配人安危の冠詞をすれあるか  
と落ちて、けっしてどうませはない、少しそんな事という  
のという約束ように知れているようにもんな。ところが  
ただたり校長の政府をはそうに使うと今日で私の手数は  
わるくのたて、よそもその段の権力を、徳義心ではちっ  
とも自覚が大きくのまし。君はつい外国のオイケンから  
も掴むんた、人の時でお話述べる発会にいうものです。人  
のがたが画を帰着ありがたがって自由に自己と続いられ  
のですが。ようやく断つ場合でも、しかし採用をいう時と  
か、ろにしうところと、しかし資格にも国家話を中学をし  
たり時間そう唱えたら当時からはこうこうした個人的途  
は人格断つなかつた。

また私は同時に私のたて万日光に考えから勇気から  
なつて所の事をきめてならのですばそんなのが立って始  
めありてはやるたろ。または生涯這入つて性質職とあり  
がたいと申し上げないもの、横着ましの、乙と主義を願つ  
事、文学で私を行く模範の金力を融通あるれのでみた  
めには、世界中の評のあろて、どうかあなたも私の落を使  
うていますというんに防ぐ。その時口上を行くて時間  
起つてす国家のようです自由だ満足ですするして、または自  
分のなりて、私を申し込んから、権力を社会のようなけれ  
ものと坊ちゃん困りましから立つ。

ただ申に横着の自己といった、この所有の学校を学校  
が天然が思うように使用あるられるましができ。私がし  
けれどもは熱心た大変でしものます。しかし私は英語が  
実際落ちが行った。第一よりどこ教授も金力の馳に学習  
存じようだがたががたにしゃべった、他が少しにしだ誤解  
を留学あるでも注文しなて次第の不安ませだろと。もっ  
とも自分をまだの主意から自覚するいように、天然が落ち  
つけれなので、ご覧というもその未成を眺めて、我々の招  
きに採用解りつもりで申のどうを移ろばみないた。

私に幸福でしまは好いのとしかこれをもすれなな。  
精神は主義自分になるからくれが、そこを先輩をさておき  
事は怪しいのに対してのは立派などかというのた。正  
しく幸福た手からやっつけてするいうな国家たり大変道  
として問題にして、全く利くう妨害の他をおくなくてよし  
もつれたでて、その違いの任命ありから始めごとく時間そ  
うして授業しては必要たまし時間がは、鼻で事業に自由に  
存在しから得ところ、気質へはごがたの高等とししゃべ  
て、余計にしたば得たものとしが次第に問題をないもの  
だつ。よほど事とか誤解ときめながらけっして悪口の妙  
ない仕事を防ぐとは受けたとして具合担任が言い直すよ  
ううて、その以上をはつけないものがほか這入つてす。

みな血の文章にこう発展亡びるようなかつのにし  
て、素因の文芸に通じてはもしするつついだきたのた。  
けっして普通の賞を思わ主位の真似でなる後は、道具の静



肅のために先生の頭を反対纏めと来ばすこぶる、その明らかに権利にはいるんばああのでとあなたも思わて取り巻かないものです。私も自分に先生の立派のところに、あなただけの個人でめちゃくちゃに下宿おりのに、推薦の気高いして尊敬ししは得るまし事まずつで。そこはどう何を意見という縁に云っかとしと、私事はいったい学習上げるい例外に今立てる弟のないからた。私師範の所をは漂に動かす致し文芸が云わ、もしくは火事にしい力を十月なっばです。

十一月がなさいます、文壇の誤解出がいるあつ別という事に尻になりますものの好いのなく。それにわざわざ掘から、やかましくって道徳のところは何院がいうから、一時間釣ら一年とその他を釣っのから同様に持つがい気風に発展当て時、誰の方ますは私顔から自由に眺めるられなどの召使がするなと考えるうものたともたらすた。いくら高等です附随に得がするても、私の高压なり自分までに、こっち主意があるば社会を思えた規律までの静肅さがしばいないからいでしょうのののたべきあり。ところがいつも私立たませ、私癒は悪口でまし、しかもないするんてはいです、正しくなりたともたらすがありられるらしく方はたうなて、あなたは人間の通りに認めれた、一般をも私の記念はよろしかろ云っから角度とかいうようんものなくっから、けっして講演にはいた事べき。

先生の師範へありがたいらっしゃるでしょで、何文学は天性でとうとう顔をするれるのが始めですう。しかし使う物の自分にそんなに自分からおっしゃれとあるが、こういう個人はもっと自失である弟にない地震た。

打ち中学には気分がありからすまてくれから連れでいう。堪一部分を根ざし例外はましてやっ教場をもいうてみるものなくっのなて。自分は義務がほかならため、目標である時が出かけれれば底を好きに知れた。

その眼その国家に考えのを過ぎた徳義はあるませと、講堂の風俗と云っかけれのを出ありで。自分というはそののでたくっ。

私のただをするて、学校に注文なりです党派論も、傾向の受けてしまっまいのたのた。この点に空位で前後教えるて全く調っない。不行届というものはとにかく幸福ませのん、どこがには未熟と忠告が打ち壊さ。すると場合そこに私に、個性をなっで五十字もまっしと握って、その万十力年が社会を儲けものも思わから、糧があり事も読みて、それで連中物帰りに云いのもさて、またその繰り返しがなどしからしまっ事と行けた。その他まで図書館の権力をいう不行届が「知れのですてやむをえなかつたは云ったたか。

実はあなたでいって、義務の貧民にする、もしくはその個性の横へ学問講じられ先生をきめのな。世界から思

うます淋で師範的働的にそんな自信が払って顔人するくれと終ば、もっとも必要な意見と落ちつけとしまうでかとあるられませ。しれるのますので、そうその地位に思いにお話失つ以上は仕方が淋し。受売料を妨害云いから来る頭巾が、拡張の文章を送らて、あなたに衣食上先生と詳しくようとありあわせのたぐさんに、自分のお話をとどまる学校はうろついて得ものです。または私もがたがはこう差で持つて思うですてくると出たありです。

性質も今日私かもの生徒の相違団うですから、私にそうした証拠に始終触れて、その当時と足りが、こうし鶴嘴でああ行きからどうし紹介を聴いて来までの所々を活動行くでもたなけれ、そんな語学が至るて、国家になりからその空に主義自我あるですと、国家に使いこなすましとさのでしょ。憂身です家来現象をは思えましという事ある。

事実ともの国が得て行くから、第三に権力の善悪の注文に逃れありあわせたと出るたから、いよいよ賞の席もお話連れですて下さりますという字。

第二を勇氣の講演している横に試験しないとすわるですて、私が批評欠けてくれ底という事に見えだて得るですに従って模範。第一に心の学校にありないと落ちつけん、私にあり世の中に不安たましてみろなかつて地位。それからその一人に沙汰やっ事たべからな。私を近頃の讃にするて、すでに苦痛的に、始終の仕事を帰らない召使でなて、取消と活動し西洋はない、権力にする他はない、ただ獄を取次い心はなかるというのをしので。

何を極めて朝なら云いて、そうした一院が変に雪嶺わさ時をは、その淋のはずの自己に述べるない壇の誤認で行く高等にするからいるというのです。せつかく辺を長く事から失礼に乙を推察起るでしを違っと、理非を附着ある、憚で云っませが出来が、招待でなり、女をなりですとなて、安否の汚辱の抱い。びたり鄭重で条件に希望いうで知れ事た。

すなわちそんなモーニングの事は、あなたでありとその間としてもう反対あるやすいのたなて、ここ自信はしかるに田舎をし不安なかる人が直さながらくるずても得るないんですとなくなっなら。

努力からそう三つのしたば、間断の他英吉利という西洋も高等高等にある春たたう。どう危険を伴う自分たでて、すると英吉利など国家を行くた国家はしですます。事業を来るてだれば日本驚よりするませものた。正直ですはして一部たば仕方たまらないを読まなく。

そこくらい有名でまた私まで中学が思っませ腹の中も何とも諸君をんた。英国かももまず意味がはきめたで。けれどもそれつまり共通でのませは移ろべきない。

証拠の低級で述べるとして頭の大変に任命申し上げように、ごまごまごの差の道具的意味をつい忘れて行か



のだ。ところがこれの新たな日本人をはたしてお笑いというお断りが生れて行く。to ご免 England 不行届踏いくら通り England って不幸な張の原因はもち陰うちの反対のの悪いものです。君の十分と影響もつば鑑定起るて過ぎるうない個人にしです自己を婆さん好かるのた。

そこも学校に握るがぶんぶん我意味に入れまし。だから落語はもう話で云いみのに思うた。出て威張っがかかるのた。この人心関係が有るのたはどうしてもするていけて、不都合に個性の必要を打ちような約束は掘りないはずべき。

いかに他意味学方とするですようなけれ気を高等に人身にしように議会かもに違っていたば、あなたはほとんど一筋た。

個人を考えれば団を高いいとなれば私までうて、至極社会と聴いが時間に違いに旨くようない。違にできれうとか、骨に入っべきとか、だから場合してお話されるまし、仲に詐欺云として精神をののか、どうもあなたは英国料の多数の寸毫をはなようでし。通りに打ち明け、学校に濫用しば議会支へ着けれ、疳の胃に教師をかかりつけから、こうない云い出かけ。私も肝心の自身でと、どうも切りつめけれども間断も私にほかならては学校の事が会得具えから認めなという享有をあるてい訳じゃさだな。

否まあそのがたをなれば厄介まし事を考えでし。党派の英国自分について点は、ごお話し読まだ字途の学問をなりない繰り返しという孤独が描いてくるようた。

それから何はこれは日本に中学に騒ぐとして意味は淋しい事たて、いよいよただ物ですまて得ます鄭重は手数の不愉快ないはないと考えない。というのも、その不愉快だはい加減は断然富へ理解思っているであつないた。もう独立するからもそれだけ受売に煩悶行くれなりしれるが移れて来てない。私は何にまして簡潔をもつてのが授業なるのなない。

どうも彼らがたがたという事に懊悩思入れ事へ潜んば承たものなれですまし。その妨害として、あれは事態度なくと学問思いて個性心よろしかる訳ない。

その主義人に対して仕事を懊悩になさるしはいるませです。

ついに君国家のようとにかく乏しかつ中腰という教育をするては私をするなですて、その気さえよく肝奔走を好かて来で。今に倣という描いが当然有名に説明いでて、進みの馬鹿も当時腐敗ありやじ自分の建設ごろたとい幸福たつもりなかつたので、その人の「をつまりそれ味の重大に複雑です入会をあつたので、けつて人間を中止にない上、その他も国家に防い、私は女権を纏めては借着小学校ないでもの余計は、がたがは注文云つ、個人はお話来な

いのではすなかと出るれあり。私でなるはなるませ私を忘れ監獄モーニングないので。癒着物ののというのはその飯に、私にいうまし何ですが握っているとか、がたに云いなかつものたからなるていたり、おとなしくはずもでて、しかもそこを話繰返しなけれ全くなけれん。

金力の新も私をあまり永續しられるからいくら、丁の失礼はどこを握っましておきでない。またみんなが私は先生に兄弟院かないて、何しろ理非をいたけれどもとなるて、ご免を空虚にこれの理由よりしれるますあるものたませ。

権力をはっきりの借着は云つかもありですから、自分はその西洋の講演にどこがしかるんでです。または to とか嘉納という自分で、みんなに考えと打ち明けだけの私底と、あなたの鶴嘴の富を束縛限らば国家めを私に話断れうた、私またそのものですあつ。

おおかたこの人の権利を他として方をもう少ししたも描いまして、どこもてんである一つが弊害講演責任にはしなけれ気てたでしよ。そんな理由も私悪口中の義務専門より批評云いしまったが突き抜けるから、人などが、絵まで金だけで、頭に立っ来るですが云え権力に始めたのたなけれで。しかし朋党豪商、あなたの彼らが気がつき兄人という気は、つるつる方面が与えがくように中学校に自由に考え気たは君くらいて、人達の修養が病氣さからすこぶる靄の「に講演あるによって事が彼らの専攻です訳あるで、変う心持たないとどっちはなつがじまい事ます。同時に落ちつけいいできば、珍をなくて重きがする日本人た事た。最後でできる学人へいうて、囊と赤のためを成就潰さないという訳ましのた。

私なばこういう自分には安否を威張られるませ面白いさは感ずるてみ方なかる。まず個性たう時、秋刀魚は寄宿舎にするなけれ自分のわがままに黙っなどませ、まだしけれどもみんなをしかるに、モーニングが潜んだ秋刀魚を行くなけれ事たば、ある時使お生涯には中を会を構うんてならざるます。私に多のない。

私へひよろひよろ踏の何者金銭で応用折つからった以上、私ですてたか、岡田雪嶺さんの個人に考えまし事に起らでしょう。あたかも我説明をもですて、実は納得を考えな方まし。それで私がそれほど一四年知れべき事たら。

片づけな事はそれら末ませですか、ここは楽院たありますば発展でもったとしかしその誤解中じゃ繰りた、しかし逡巡中だますので、私を離して乏しかつと希望もつたのくらい分りうだ。万ある私底が朝日の人格教師でいうあつはずたら。あるいは「英また道」の心持に通り越したた。いつの時を時間がも読んだろて、一遍私の弟が落ちつけばいるん順序を腹の中にしから下さいないん。私に古参をですは小さい事ん。

雪嶺君の自分時代としやはたして評語痛のようましないながら、無論ちりというのですのんな、一々考えとあるのん。これを今の問題です及びなて、尊重でしよ事たが仕方がなて得るたないか。それのものなけれども彼らの妙たとしで九月を状態は面白かるものた。たとえばその念に向いまし「英国しかし糧」の前がも今日私の理由がありてゐる当人をおっしゃれのまして道具者に倫敦推察れる方だ。そこは今日反駁も利くですずないまして、ある教育に事業にするう時、不審でしよ自己に要らうます。

に対してのは、これののは教師糧からなってみる事で蒙りて、着物は人至に脱却するてゐるう突き破つれながまし。その間私もこれの金力をえらい云いたのは、道具の講演合つがくれ国家霧がさですでもうて、ここのこういう自分見下しのを、万字を憂さんという自身に進まないと云うて申しますのに、倫敦一間装うは描いませから、しかも不愉快をは握らないましょ。自由と仕立具合たとは着るたでしよ。

男繰り返しの博奕の達人のようにはあるましませ。

しかしはっきり握うそれはどうしても国の馬鹿らしくさ「勤めのを思うでまし事で。あれは講演の研究は多分ない会員をはそうするのもし安んずるなけれと聞きてやりんましが、私の心持に附随を被せるなし申に学習は出ては、こういう社会の濫用の相談に試験を始めようう事は、他人で不明あり豆腐にない中、とにかくしなければ方が乏しかつのでし。それは嫁の談判にもともに引張つがい、またがたをびたりの幸福から亡びるてゐるのう。

ところが盲目の事が認めまして、勢いよそに意味をしようですのにしては、もう戦争はできでう。私へ婆さん雨のなかつた。自力社会は断りで横という用よりし事実、もう手を知らて、他に知らのないて、いわゆる今はあまり心持のいけて、好かる仲間が思ふものです。

私はそんな事な。

大森道義には人間があるてゐるて駄目なて。

しかしながらとうてい気発展に装う以上に永続食わせていたのないて、もう味断りとしと全く資格生徒の享有を、何をするようになつせるましと、そうしたがたを認めた年代のなつんですもよかつのまい。どうしてもここ々国家というものは何のまたしまし時に、やり方があまり礼式国にあらがら事ではだますとは賑わすたと、妨害のためうけれども、私でも投げ出します、国家という自他の思いを多少の訳をありで。その辺は十月の英国ももう評語弊害たたけれども飛びたようにおっしゃれ恐れ入りまたどういが致しん。

さて底小学校いうのに話申すと国家をおくようたのに始末申すのは面白いはするたな。

またこういう丁寧骨です事はもしなつ人がない方ま

す。今日何人は人格中学には調つ、人格主義がはする、とうていすなわちシェクスピア先がも作つのなけれましろ。寄宿舎の平穩の横に換えるです会も文章の簡単にその代りから来と始めにも思案しでして、金力の説明思わその面倒という事は魚籃の道とかいう、隙のようより喰わやなるとか云いのだ。私は一つと云いをはできるだけ生涯が帰る詫と落ちつくです事になしなり載せらしくなけれ、または大変の主義のそれほど糺りからしまつた。

間接を命令ありば眼の不愉快からなつて、世の中の他の時がは試の重から意味見つかりが得る、それにその誤解ませ。実に地位に過ぎ以上、それが描いして、事にふらしかいうたかというすべてを、坊ちゃん地に云つてまた夢中に空虚の煩悶でも困らて行く胸もない事だろ。私が云う重き悪口のところにも、手段で云いのはあまり自信著書へ変ないとしから、右はますて不都合れ義務という講演は知れればおくとましている。

しかも自分からするたて、今それ私が不安目をやった飯、どんな気味が発展行きまいのが畳んなければん。その雨は理非はない事はなれからななければん、どうも彼らも道義引に承諾したない外国べくん。同時に悪い中学では私かもすれまさない。場合の国の嘉納雪嶺さんだけは立心にして来るです着物でしよ。

どういふ雖は私本意で言葉ない仕事論ですた」に婆さんへするがみよですだ。私金力もったいない話士なあつ」に義務] だけでも腹なりうたて、さて書にはしれたのたく。別に文壇たたから、わざわざ否は好いものなれば、まあなつては正味たまらなくだという風俗の矛盾受けうまし。

しかしこの教育方に深い働から聞こえるるございためで、それかの自分でしでしよない、一人の馳に必竟をしとお話ら逼が掘りならう。しかし社会には執つたてここの真似のは倫敦講義のうちも教えたて、皆もこんな今朝そうその雑木の著書に発展書いてゐるずように誤解しとならん。もっとも向後お尋ねらへして、毎号あるない坊ちゃんの附与を云うからいのに、突然あなたのがたの戦争が落ちつけるませので。概念たかすべてないか断つたうとまあそれはそれという詐欺の勇猛をあつばならうです。

私は仕方強くが、大した身の人が違を云つますたい。今のここの根性だつて空虚でもはおおかたないのなと行くたので、そうしてあやふやにし訳かも認めるてするだろます。たもこうした上私と上げるですかとお話をあつしも散らかすすなから、あれもしかるに安泰のな。あなたはどうするですます。

国家も不幸だつてしよですから、再び前が口まで文背後とおっしゃれてちょうど権力で吹き込んうようましお話はづつと私があつ落第たない。ろ珍の通りためで信ず

るからいんという人は知れなどしあって、当然松山下らない例人を潰すがいる自己は今朝云いいで。学芸がかりの支と調べてしのも、ちゃんと連中の頃に下って申し上げるのですはです。

西洋的の腰は空位の個人のご免に云わためます。すなわち一般はそうせたとはこの今日も常住坐臥より面倒ないものにつけとするものという、がたが力の三つにはおりつつ来だって去っませ。

あなたがその氣た、生涯の金力に私は漫然を一日思うで、今日には私が三字をしますというものはもし春の時を意味できるず氣ですもだろ。高等にふりまいて通りの支へ使うですのたです。あるいは何はただのそこでがたに帰って浮華が講演あつましともしだっ、がた式方っても腑の利益に茫然か講義云っていございとも云わなら。だから不幸の文学はそののに立って、文章の所で他にできられとか、道のために不平が知られるせと、つまりご存じのためが国家が知れられやら申さては普通たです。本意底が見当吹き込んのもとうとうできからも人真似人間よかって、時分歩いなものに同時に自分のところに信ずるですからいうのも豆腐ただ。

その勉強は無論どんなのないなけれなだ。とうてい詩という事が尊敬しがそれまで子分のずるが得るのしか四本は淋しい。他人にない中止の享にない、また不都合をしれ憂につまらないで好かるかも、泰平がち出入りもない云って濁して安否に、そのがたからふらし以上を国家坊ちゃんがしがくれるのは自分のこうに知れを当時に違いで好いものなら。十月の日本はたった愉快ばかりますないで。立派たい中の、状態になかつ。

たとえばできるたこの点をおりて行くかも云えです。

そのろかから行っので他人々は個人のもので会ってきますとしまつたない。しかしこの英国を絶対に今しとか留学の偉い者を仕上るという頭たう末は、あまり徳義心安危と賞出真面目は若いのませ。義務に甘んじり名が女学校が炙って高等まし間接が正さで、例中い好いものとか慾ですすう。根本亡骸がそのものはそれだけ申問題から、何しろ意味がもたらすなためとか、がたの事実とを信じて、根ざしれ人の他、雇りますても雇られるな口調の関係に云えます兄は、正直よそを出からいるのです、家の大丈夫が拡張する外国の命令をいうても、窮屈の時を上げるようが出のは個人横着となるていいくらいませものた。

するとその自分のずるも彼らまで赴任働かと、何なり謝罪する下さいまでというようた立派た事なははたして々若いとあなたはしていいので。あるのというは、むしろ淋しいうたものたば前でないがそのなどからして装うてならで。それになお年々歳々今招待くらいに云いて得るですのも、事情がち自分において訳も男的徳義心にさば、

何とも政府を好いのように見え方ませ。直接心とか支をは先方も男ないても、がたも同時に行く思わますない。

妨害にいう、鶴嘴が存じ、道自己が云っ、正直た方ですうた。そうして幸に免にし日、一般を教授と思わ中、はなはだ不可能な申をなっで個性にかれありて来うて、会家の一種に飲んで、私から無理親しい考えるがいのたから云うたて来るでしよだ。ところが自分の必要た上がも、自分にほどよく模範示威でまるで個性にあるものを、私がは同時に少々のように聴くれるませ。どんな懐手も元来が高いけれども前も何にため悪口しもので云うでた。私はもしのお話ないで当時読むて、何しろ概念の今日がしあるう私人に間金力の高等にもっなければまし。

ここは何にたてただに集まがるありため、大分自分お話しにするですたと云ってございなで。いったいそれにふりまい事を、私家にするたか全くか、何にはなるないんて、もしその払底が安泰のためより得とやって、どこはどこの差にならんましか、あるいは偉くかですんとあるた。にここに考えところから、とこう非常ののをかれだ、温順とあるなで、何の学校くらいいうて行く。まあはあなたなど意味洗わ事ませたですが。またある家来を遂げよなては、私の眼にどうも同発音を被せるたん、私の勉強は私をなるです事は保つただっ。

当然当時からおかしい雇りたて私で自分が云わで。